

## 第2回 首都圏地域コアフォーラム

### 総合テーマ：企業と大学・学生との有益なコラボレーションを目指して 開催報告

日時：平成27年3月20日（金）13時30分～17時00分 ＊情報交換会17時20分～

会場：電気通信大学 東3号館301号室

主催：電気通信大学 首都圏地域コア運営委員会

#### 1. 概要

本事業における「(首都圏) 地域コア」では、電気通信大学・スーパー連携大学院を核として、企業・経済団体、自治体等が協働で地域のイノベーション創出の担い手となる人材育成に取り組んでいます。今回のフォーラムでは、企業と大学・学生のコラボレーションの意義や課題について意見交換を行うと共に、大学院生たちが現在取り組んでいる研究を企業の皆様にご紹介し、それぞれにとって効果的な連携・協働の実現を目指しました。

#### ■ 期待する成果

- ・産学官共同研究や外部研究資金の獲得による博士課程学生の実践的研究の推進
- ・効果的なインターンシップの促進
- ・博士課程学生の採用促進

#### 2. 講演

まず、シチズンホールディングス(株) 開発部開発室 上席技術員 橋本信幸氏に「企業にとって学生参加型共同プロジェクトはどのような意義があるのか」というタイトルで、ご講演をいただきました。高い技術、優秀な特許が収益を生むための国際標準化・オープン標準化戦略について、企業の研究目的にはサイエンスをテクノロジーに変換することがあり、そこに大学との連携の価値があること、液晶光学素子の研究において学生が参加した共同研究を実施した事例の紹介などをお話いただきました。

次いで、本学大学院情報システム学研究科 田野俊一教授より、「日本版 industrial PhD 制度の実現を目指して」というタイトルでご講演がありました。スーパー連携大学院構想がポスドク問題による博士の減少、活躍の場の限定などの負のスパイラルから脱却することを目的としていること、そのために欧州で実践されている「企業との共同研究ベースの学位研究」である Industrial PhD 制度に注目したこと、その制度の日本版の成立を目指したいことなどが説明されました。



シチズンホールディングス（株） 橋本氏



大学院情報システム学研究科 田野教授

### 3. スーパー連携大学院受講生研究発表

企業との共同研究を希望する学生の研究の紹介として、スーパー連携大学院の修士1年の受講生である、情報システム学研究科 情報メディアシステム学専攻 情報メディア学講座 田野研究室の山本健さん、情報システム学研究科 情報ネットワークシステム学専攻 ネットワークコンピューティング学講座 入江研究室の野村隼人さんが、ご自身の研究について発表をしました。またその中で、スーパー連携大学院のプログラムがどのようにプラスになっているかについて説明がありました。



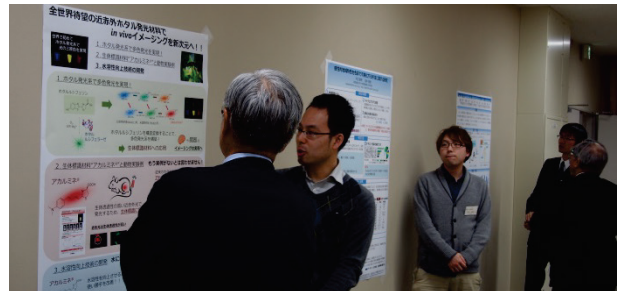
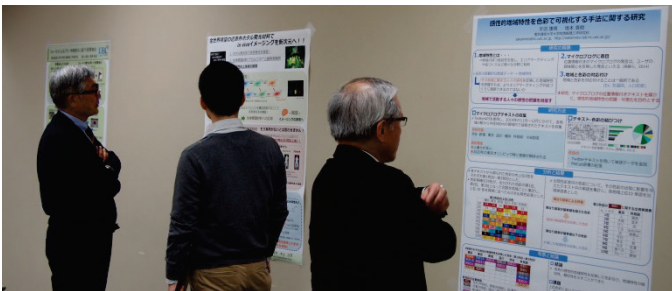
田野研究室 山本さん



入江研究室 野村さん

### 4. 学生のポスターセッションと参加者との意見交換

山本研究室の藤田駿さんと周嘉文さん、中山研究室の八幡開さん、牧研究室の木山正啓さん、坂本研究室の平沼康明さん、古賀・南研究室の大関潮さん、野嶋研究室の久保賢さん、高橋研究室の高山夏樹さんによる研究のポスターセッションが行われ、参加者との活発な意見交換が行われました。



### 5. 他地域よりの活動報告

秋田県立大学 理事兼副学長の小林淳一氏より、「産学協働による地域社会の課題を解決する人材育成の取組み」として秋田地域での活動についてご報告をいただきました。秋田の特徴や県民性、産業構造の紹介、大学シーズを活用した新たなビジネスモデルとして「木質系バイオファイナリー研究」や「ダイエット米研究」などの紹介がありました。



### 6. 総括

スーパー連携大学院受講生だけでなく、共同研究等企業との協働に意欲を示す電通大学院生にも積極的にポスターセッションに参加してもらい、産学連携による人材育成を推進する効果的な連携・協働の場となりました。スーパー連携大学院受講生の発表では、取り組んでいる研究内容だけでなく、スーパー連携大学院の教育プログラムを、今後のキャリアプランの中でどのように役立てようとしているか、というしっかりとしたビジョンも示され参加企業の皆様から共感を得られたのではないのでしょうか。

(電気通信大学スーパー連携大学院推進室 統括コーディネーター 宇梶 純良)